

テキスト本文

テーマ 1～40

にっしょう ぼ きけんてい 日商簿記検定 **4** きゅうたいさく 級対策

01	^{げんきん} ^ふ 現金が増えたら？	^{げんきん} ^{ぞうか} ^か ^{かた} …現金増加の書き方
----	---	--

つぎ ^じ の ^ず ^{らん} ^{あた} ^ま ^{げんきん}
 次の T の字をした 図 を ご覧 ください。 頭 に 「現金」 と 書いて あります。



これは、「現金」という財産の増加または減少を記録する場所です。

T の字をした記録場所のことを、勘定口座または勘定と呼びます。現金とい

^{ざい} ^{さん} ^{ぞうか} ^{げんし} ^{ょう} ^{きろく} ^{ぼし} ^ょ
 う財産の増加または減少を記録する場所なので、現金勘定といいます。

^み ^せ ^{かい} ^{しゃ} ^{きん} ^こ ^{げん} ^{きん} ^{はい} ^{げん} ^{きん} ^{かん} ^じ ^{ょう} ^ひ ^だ ^り ^が ^わ
 お店のレジや会社の金庫のなかに現金が入ってきたら、現金勘定の左側に
^{はい} ^{きん} ^が ^く ^か
 入ってきた金額を書きます。

^{とり} ^ひ ^き ^{れい} ^が ^つ ^に ^ち ^{しょう} ^{てん} ^{しょう} ^{ひん} ^{だい} ^{きん} ^み ^せ
 (取引例) 1月1日に、にほん商店へ商品を売った代金として、お店のレジ
^{げん} ^{きん} ^{えん} ^い
 へ現金1,000円を入れました。

	^{げん} 現	^{きん} 金
1月1日	1,000	

なお、^{まい} ^に ^ち ^{えい} ^ぎ ^{ょう} ^か ^つ ^ど ^う ^お ^こ ^な ^き ^ぎ ^{ょう} ^こ ^じ ^ん
 なお、毎日の営業活動を行うところを、企業といいます。個人で運営する
^こ ^じ ^ん ^き ^ぎ ^{ょう} ^き ^ぼ ^お ^お ^{かい} ^{しゃ} ^そ ^し ^き ^つ ^く
 ばあいは「個人企業」、規模が大きくなると「会社」という組織を作ります。

^ぼ ^き ^き ^{ゆう} ^こ ^じ ^ん ^き ^ぎ ^{ょう} ^ち ^い ^{かい} ^{しゃ} ^{たい} ^し ^{ょう}
 簿記4級や3級では、おもに個人企業や小さな会社を対象とします。

【例題 1】

次の取引を、現金勘定に記入してみましょう。

- (1) 現金 2,000 円を受け取った。
- (2) 現金 5,000 円を金庫に入れた。
- (3) 10,000 円を入金した。
- (4) 500 円玉 1 枚と 1000 円札 3 枚をもらい、店のレジに入れた。
- (5) 現金 245,000 円をもらった。

現 金	
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	



02	現金が減ったら？	…現金減少の書き方
----	----------	-----------

現金を支払ったりして、お店や会社から現金が減ったら、現金勘定の右側に減った金額を書きます。

(例) 1月2日に、タクシー代として現金400円を支払いました。

現	金
	1月2日
	400

なお、このような現金の受け取りや支払いの内容について、より細かく管理するために、「現金出納帳」という帳簿に書くこともあります。

現金出納帳

平成 〇年		摘 要	収入	支出	残高
1	1	前月繰越			0
	//	にほん商店に売上	1,000		1,000
		タクシー代		400	600

もしも、このまま月末をむかえたら、下の1月31日のところのように、残高600

円を次月繰越として支出のところに書きます。

現金出納帳

平成 〇年		摘 要	収入	支出	残高
1	1	前月繰越			0
	//	にほん商店に売上	1,000		1,000
		タクシー代		400	600
	31	次月繰越		600	
			1,000	1,000	
2	1	前月繰越	600		600

【例題 2】

次の取引を現金勘定に記入し、現金出納帳にも書いてみましょう。

2日 東京商店への売上代金として、現金 2,000 円を受け取った。

10日 電車に乗り、現金 300 円を支払った。

22日 タクシーに乗り、現金 1,000 円を支払った。

現 金	
2 日	10 日
	22 日

現金出納帳

平成 ○年		摘 要	収入	支出	残高
1	1	前月繰越			0
	2	東京商店に売上			
	10	電車代			
	22	タクシー代			
	31	次月繰越			
2	1	前月繰越			

03	<small>たてもの</small> <small>くるま</small> 建物 や 車 やパソコンを か 買った ら ？	<small>こていしさん</small> <small>しゅとく</small> …固定資産の取得
----	---	---

いったん取得したら、長く使えるもので金額の大きいものを「固定資産（こていしさん）」といいます。

固定資産には、次のようなものがあります。

- (1) 建物…店舗（てんぽ）、倉庫（そうこ）、本社ビルなど
- (2) 土地…建物が建っている敷地（しきち）や地面など
- (3) 車両運搬具…営業用の自動車やトラックなど
- (4) 備品…パソコン、印刷機、机、いす、棚、応接セット、ケースなど

うえにあげたようなものを取得したら、その内容に応じて①建物勘定、②土地勘定、③車両運搬具勘定、④備品勘定のどれかの左側に金額を書きます。

※100で固定資産を取得した時の書き方。

建 物	土 地	車 両 運 搬 具	備 品
1 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0

なお、固定資産を買うときにどうしてもかかるものがあります。建物や土地なら仲介手数料（ちゅうかいてすうりょう）や登記料（とうきりょう）、備品ならば送料などです。

このような必要な支出を「付随費用（ふずいひよう）」といいます。

この付随費用は、固定資産を買わなければかからないものなので、購入金額と一緒に、それぞれの勘定口座に含めて記録します。

（取引例）建物 1,000,000 円を購入した。そのさいに、仲介手数料 60,000 円と登記料 50,000 円もかかった。

建 物
1,110,000

※仲介手数料…建物や土地を紹介してくれた不動産業者への報酬

※登記料…建物や土地を役所（登記所）に登録するためにかかる金額

【例題 3】

次の取引を、それぞれの固定資産勘定に記入してみましょう。

- (1) 店舗用の建物 5,000,000 円を買った。仲介手数料は 80,000 円だった。
- (2) 事務所用の土地 55 m²を 1 m²あたり 100,000 円を買った。そのさいにかかった登記料 150,000 円だった。
- (3) 営業用の自動車を 1 台 1,200,000 円で購入した。
- (4) パソコン 180,000 円とショーケース 120,000 円を買った。

建 物	
土 地	
車両運搬具	
備 品	

04	給料や交通費などを支払ったら？	…費用の発生	
----	-----------------	--------	--

わたしたちのふだんの生活を考えてみると、いろいろなものを消費（しょうひ）して、お金を使っていることがわかります。

スーパーやコンビニで食べ物を買えば「食費（しょくひ）がかかった」といいますし、電車やバスやタクシーに乗ったら「交通費（こうつうひ）がかかった」などといいます。部屋を借りていたら毎月「家賃（やちん）がかかる」といいますね。

企業もこれと同じで、「商売に必要な消費（何かを使ったりサービスしてもらったりすること）」は、「費用（ひよう）」と言って、かかった金額を帳簿（ちようぼ）に記録します。じつは、現金が減る原因の代表的なものがさまざまな費用（消費）なのです。

費用がかかったら、かかった費用を表す勘定科目の左側に、かかった費用の金額（発生額（はっせいがく））を書きます。

（取引例）電車代として 170 円かかった（＝交通費 170 円が発生した）。

交 通 費
170

※費用の具体例（ぐたいれい）※すぐにおぼえなくてもだいじょうぶです。

- （1）給料…雇っている従業員（じゅうぎょういん）に支払う費用
- （2）発送費…配達してもらったり、運んでもらったりしたらかかる費用
- （3）広告宣伝費…商品の広告や宣伝をしてもらった時にかかる費用
- （4）支払家賃…借りた部屋にかかる家賃。土地を借りたら「支払地代」
- （5）支払保険料…保険に入った時にかかる費用
- （6）通信費…電話料金、はがき代、切手代など
- （7）消耗品費…事務用の文房具代や小物の購入代金など
- （8）交通費（旅費交通費）…乗り物代（電車、バス、タクシーなど）
- （9）水道光熱費…水道代、電気代、ガス代など
- （10）雑費…適切な費用の名前が無い場合に使う費用科目
- （11）支払利息…お金を借りた時に支払う利息
- （12）雑損…損をしたが、適切な名前が思いつかない場合の費用科目

【例題 4】

次の取引を、それぞれの費用勘定に記入してみましょう。

- (1) 今月分の店員の給与手当は 240,000 円だった。
- (2) 新聞広告の代金が 60,000 円かかった。
- (3) 切手代 4,000 円とはがき代 5,000 円がかかった。合計額を記入する。
- (4) 電気代 8,000 円とガス代 7,000 円が発生した。
- (5) 今月分の家賃 120,000 を計上する (=記録する)。
- (6) 今月分の新聞の購読料は 4,500 円だった (雑費とする)。

給 料
広告宣伝費
通 信 費
水道光熱費
支払家賃
雑 費

	練習問題 1	…01～04 の復習
--	--------	------------

問題 1

次の取引を現金勘定に記入しましょう。

- (1) 現金 3,000 円を受取った。
- (2) 現金 1,200 円を支払った。
- (3) 現金 750 円を支払った。
- (4) 現金 500 円を出金した。
- (5) 現金 1,000 円を入金した。

現 金

--	--

問題 2

次の取引を現金出納帳に書きましょう。

- 3 日 山口商店への仕入代金…2,400 円支払い
- 12 日 青森商事より売上代金…9,000 円受け取り。
- 25 日 給料の支払い…4,000 円の出金
- 28 日 広告料の支払い…1,500 円の支出

現金出納帳

平成 ○年		摘 要	収入	支出	残高
4	1	前月繰越			10,000
	3				
	12				
	25				
	28				
	30				
5	1	前月繰越			

問題 3

次の取引を勘定記入してみましょう。

- (1) 店舗用の建物 2,000,000 円を買った。仲介手数料は 60,000 円だった。
- (2) 事務所用の土地 60 m²を 1 m²あたり 80,000 円を買った。そのさいにかかった登記料は 100,000 円だった。
- (3) 配送用のトラックを 1 台 2,000,000 円で購入した。
- (4) プリンター 100,000 円と事務機 80,000 円を買った。

建 物	土 地
車両運搬具	備 品

問題 4

次の取引を勘定記入してみましょう。

- (1) 郵便局で切手 10 枚@80 円とはがき 20 枚@50 円を買い入れた。
- (2) 文房具店から伝票と帳簿を 3,000 円を買い入れた。
- (3) 今月に、借りたお金の利息 1,200 円が発生した。
- (4) 今月分の店舗の家賃は 150,000 円だ。
- (5) 今月分の土地の賃借料（支払地代）は 96,000 円だ。

通 信 費	消耗品費
支払利息	支払家賃
支払地代	